

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
E-mail:shimpoh-c@uccj.org
発行人 竹前昇
編集主筆 竹澤知代志
印刷所 株式会社きかんし



須磨月見山教会

クリスマス メッセージ

マタイによる福音書二章一〜一二節

異邦人を照らす光



上原智加子

全ての人が招かれている日

今年もまたクリスマスがやって来ました。至る所で、クリスマスの楽しい雰囲気、盛り上がりつつあるのを目にします。でもどうして教会以外の場所で、クリスマスでもない人々が、これほどまでクリスマスを祝うのでしょうか？

しかし、クリスマスは、単なるイベントで、楽しみたい人だけが参加して、楽しんで終わりのないものであります。むしろ、クリスマスは、分け隔てなくすべての人が喜び祝い、この喜びに生きるように招かれている日なのであります。すなわち、その意味は、神の御子が世を照らす真の光として、すべての人を照らすために、お生まれになったのです。

私たちは、お生まれになった日だからであります。御子が生まれたこの日、ユダヤ人だけでなく異邦人にも、神を喜び讃美する救いの道が開かれました。イスラエルが待ち望んでいた救いの主の誕生は、真の神から遠く離れ、闇の中をさまよっていた人々のもとに、神の救いの訪れをもたらしたのであります。その意味は、正しく敬虔な人たちのためというよりも、むしろ自分

最も遠くにいた者たちが

マタイ福音書は、マリヤとヨセフ以外で、御子の誕生を知っていた人物として、東の方の博士たち、それも異邦人の、占星術の学者たちの存在があったことを告げています。異邦人である彼らが、ユダヤ人の王としてお生まれになった方を拝みにやって来たということの内に、すでにクリスマス

真の神を礼拝する生活へ

しかしながら、学者たちのメシアに一目お会いしたいという熱意とは対照的に、ヘロデ王とユダヤの宗教的指導者たち、そしてエルサレムの住民たちは、メシアの誕生の知らせを聞いても喜ぶどころか、むしろ不安と恐れを抱いたのであります。そして彼らと一緒に御子を探みに行こうとせず、冷たい傍観者であることに徹したのでした。本来なら、真の神を礼拝し、メシアを待望してきたはずのユダヤの民こそ、その御許に急いで拝みに行くべきであるのに、彼らは尻込みし、自ら遠ざかったのです。

それは、真の神から最も遠くにいた者たちが、神の救いに最も近くに導かれたということでもあります。彼らは、「東の方から」来た人々でありました。聖書では「東」は、様々な問題を抱えている場所として描かれています。それは、アダムとエバが罪を犯して楽園から追放された場所であり、カインが弟アベルを殺害した後、追放された地でありました。神の決定に不満を抱いたヨナが座って二ネベの町の成り行きを見

ています。異邦人である彼らが、ユダヤ人の王としてお生まれになった方を拝みにやって来たということの内に、すでにクリスマス

ります。そして、彼らとは反対に、神に反逆する地に住む異邦人の方が、しるしを見て、メシアの誕生を一目見ようと熱望し、神に許されて御子のみ許にと導かれたのであります。

また驚くべきことに、学者たちは、救い主、ユダヤ人の王として生まれた御子の姿の内には、何一つ輝かしい栄光の王たるようないしを見るのができなかった。それにも関わらず、つまずくことはありませんでした。彼らが、命がけの旅をして、苦労してやっと辿り着いて仰ぎ見たメシアは、

守ったのも東の方でありました。言わば「東」は、神から追放された場所、あるいは逃亡する場所であり、さらに神への反抗を示す象徴的な場所であると言えます。

また彼らは占星術の学者でもありました。このことも、彼らが真の神からは遠くはなれたところにいたことを物語っています。というのは多くの異教の国々では月や星などの天体が人間の運命を支配する神々に数えられていたからです。彼らは天体の動きに通じている学者というだけでなく、天体を信仰する人々の間で祭司の役割を担っていたと考えられます。実際に「学者」と訳された言葉は、「賢者、天文学者」の意味に使われますが、「占い師、魔

を成り立たせていた大切なものを惜しみなく御子に捧げたのであります。そうすることによって、彼らは言わば、これまでの偶像や魔術に満ちた生活から、真の神を礼拝する生活へと、その

生き方を変えられ

輝く星と聖書の御言葉に導かれて異邦人の学者たちは、ついにユダヤの王、異邦人を照らす光として、世を救うためにお生まれになった御子に出会い、生き方そのものを変えられました。それは彼らが、見えないものに目を注いで、希望を抱き、神が与えて下さるしるしと言葉に支えられ、

術師、魔法使い」という悪い意味にも使われている。こうした東の方に住む異邦人の占星術の学者たちが、ユダヤの王としてお生まれになった方の誕生のしるしを発見して、そのことを喜び祝うために早速ユダヤの国へ向かって旅立ったのであります。神から遠く離れ、偶像やまじない、魔術に満ちた生活の中にあった異邦人の彼らが、しるしを見て、イスラエルが待ち望んでいた王、メシアを一目見て拝みたいとの強い願いを抱いたのであります。そして彼らの熱心な求めは、神に受け入れられ、彼らは輝く星と聖書の御言葉に導かれて神の御子に出会うことができましたのであります。



告知せ
「教団新報」次号四九四・九五号を合併号とし、一月二八日に発行致します。なお教団事務局、出版局、年金局は二九日〜一月四日は休業致します。

総幹事 竹前昇

▼教会員が、一枚の写真を携えて来た。セピアに変色した八〇年近い昔の集合写真には、青年から幼児まで九〇人ばかりの顔が見える。その最前列真ん中、おかつぱ頭の少女が当人とのこと。成る程面影を見る。

▼牛込のとある民家で、クリスマス集会とは覚えていないが、所番地や教会名は不確か。▼この時のことが、昨日の出来事のように鮮やかに思い出されると言う。人数に圧倒されて後ろの方にいたら、前にいらっしやいと呼び出され真ん中に座らされた。恥ずかしいような得意なような。あの日に帰りたい。もう一度あの場所を訪ねたい。三晩続けて同じ夢を見たそうだ。▼他には手がかりがないまま、コピーをもって教団に行ったら、直ぐに有力な情報を得た。写真の一人が故M牧師だろと見当がついた。

▼初めてイエス様に声を掛けられた日、信仰の友を得て、高らかに讃美を歌った日。そんな思い出を持つ人はなんと思われたことか。例え写真が色褪せる程の年月が経っていても、それは今も昨日のことのように。

伝道する教会(の建設)

西東京教区伝道協議会・主題講演

一月二三日、四日、富士箱根フンドスコレプラザホテルを会場に開催された西東京教区伝道協議会

の「幻がなければ民は墮落する」教会を守れる者は幸いである(29章18節)の引用で始められた。

『民(信仰者)が、墮落する』とは『民がわがままにふるまう』という意味であり、『わがまま(墮落)』は自己追求の罪、神への服従の反対語で、『伝道の幻』は、わたし

たちを墮落した信仰者、即ち、わがままで自己中心的な『神への服従なき信仰者』から解放してくれる。私たちが伝道する理由は、それが復活の主イエス・キリストのご命令だから『あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい』(マタイ28章19〜20節。わたしたちが、この主の命

令に服従していくときに『民のわがまま』という信仰者の墮落から解放され、自分を献げる喜びの中へと招き入れられる。

当初は耳慣れない神学『術語』に途惑いも感じたようだが、一語一語も丁寧に語る講師の声に、聴衆は次第に魅せられ、その世界に引き入れられて行った。

「伝道とは何か」ということさえ多様に解釈され、曖昧になって行く時代の現実の中で、伝道しない、伝道出来ないことの理由説明ばかり巧みになっている自分を発見し、慄然とした。

「イエス・キリストの十字架と復活の出来事は、教会を成立させると共に、地上の社会とすべての人間に価値あること…国家が宗教(教会)に対してどのような態度をとるかは、日本社会における民主主義の健全さを測ることになり、国家としての実力を表現することになり…それと共にキリスト教会の実力も、日本社会における伝道活動の進展において評価されることになる。…政教分離を原則とする社会においては、伝道

活動そのものが重要な『社会的活動』である。大胆に表現すれば、キリスト教会が日本社会で伝道を進展させればさせるだけ日本社会は健全化する。

現在の日本社会は深く病み、癒しを求めている。日本社会は、真に実力のある宗教による癒しを期待している。社会は『まことの福音』を求めているのだから、福音伝道こそ日本社会にキリスト教会がもっとも貢献できる社会的活動であり、社会的奉仕であると言える。



高度に神学的な講演に、しかし魅せられる聴衆

教会学としての伝道学

本論は、三部構成になっており、その第一章では、『日本という伝道地で、伝道を展開し、推進する』べく『教会学としての伝道学』

が提唱された。『伝道』に関する神学的認識や理論にとまり、実際には福音伝道を進めることができない『理念』に過ぎないことを訴えた。

また、既成の伝道論を分析、四つの型に類型化し、『それらの前提となる思考形式は、思考の枠組みや思考構造が『伝道学』になっている』と指摘した。

その上で、『伝道推進を可能にする伝道の神学となる』

また『使徒言行録』をテキストとした山口牧師自身による『伝道黙想』の実例が六例示された。紙数の制約がありその要約さえ紹介できないが、特に印象的だった第六節『アレオパゴス論争と教会の歴史』現代世界との対話』の断片だけを以下に記す。

第三章は『教会の学としての伝道学』のスケッチと実践。山口教授が神学大学を卒業して以来、留学期間を除いて、殆どの期間携わってきた開拓伝道、特に、五反田教会と玉川平安教会での実践例に焦点が充てられ、両教会の協力による新しい形態の伝道、横浜市営地下鉄、センター北駅前展開する都市伝道が紹介さ

れた。単に事例の紹介に留まらず、その伝道的意義が、具体例を通して語られた。興味深いものであったが、ここでも紙数の関係上詳細を報告することは許されない。以下に抜き書きする。

『伝道』とは『御言葉に聞く教会を形成しつつ、福音を地の果てまで宣教する』(一九九五年九月日本基督教団常議員会による決議)ことである。伝道を進める。展開していくために欠くことのない課題は、『伝道学』とは、『御言葉の実践』である。『伝道の神学』は、机上の空論であることはゆるされない。具体的伝道活

東海教区部落差別問題特別委員会主催の第一六回「にんげん大学」が十一月三日沼津教会を会場にして開催された。講師は、教団部落解放センター運営委員会委員長の東岡山治氏で、第一部「怒りから祈りへ」第二部「糾弾から尊敬へ」と題した二度の講演を通して参加者に部落解放への啓発を促した。参加者は三三教会四八名であった。

この「にんげん大学」は東海教区が部落解放運動の一環として取り組んでいる企画で、教区内にある六分区分を輪番に会場

として行なわれている。東岡氏への講師依頼には、主催者側から以下のような視点を踏まえての講演としていただく依頼をした。それは、『ペトロの手紙一第三章九節にある

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

このように今回の集会は、参加者から解放運動そのもののへの恐れを取り除き、差別をなくすだけ

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「にんげん大学」開催

東海教区

部落解放運動の一環として

「悪をもって悪に、侮辱をもって侮辱に報いてはなりません。かえって祝福を祈りなさい。祝福を受け継ぐためにあなたがたは召されたのです」という言葉が、水平社宣言の根底に流れる祈りと重なっていると感じま

うものであった。東岡氏の二度の講演は、主催者側の意図を十分汲んだもので、第一部では、じぶんが解放運動の原点に祈りを置くことへ変えられていった経緯を喜びと感謝をもって紹介し、第二部では、差別

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

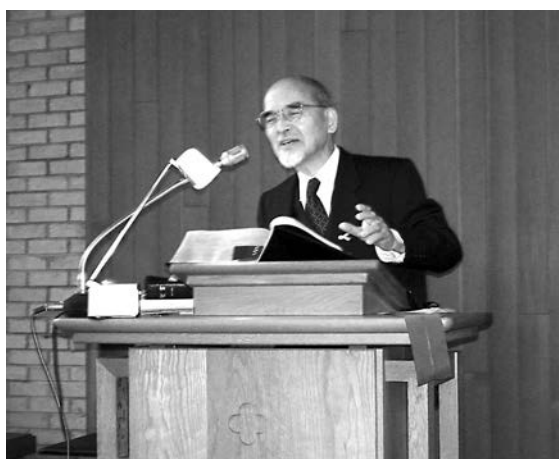
「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。

「差別をなくすのは、被差別の現場に行き、その人々の感性に育まれ、その者たちの中で生き、体身にして分かることだ」との講師の指摘に心を動かされた」と語っている。



講演:東岡山治教団部落解放センター運営委員会委員長



センター北駅前=このビルの中で開拓伝道

「伝道を進める。展開していくために欠くことのない課題は、『伝道学』とは、『御言葉の実践』である。『伝道の神学』は、机上の空論であることはゆるされない。具体的伝道活

「伝道を進める。展開していくために欠くことのない課題は、『伝道学』とは、『御言葉の実践』である。『伝道の神学』は、机上の空論であることはゆるされない。具体的伝道活

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

宣教方策會議開催を全員一致で可決

○六年三月神戸栄光教会を会場に

宣 教
委 員 会

第34総会期第三回宣教委
員会が一月七八日、教
団A会議室にて開催され
た。開会礼拝を川崎善三委
員が担当し、一コリント一
三章二節に基づいて、教
団の更なる連携による形成
を願う説教がなされた。
諸報告では、常議員会、
常設専門委員会等の報告が
なされ、協議に入った。
協議の主要事項の一つは

宣教方策會議に関する件である。前回にも報告したが、第33総会期は、宣教理解の行き詰まりのゆえに対立を際立たせかねないと、会議の開催が懸念されていた。

が提出された。そこで共通した問題は宣教の低迷から来る危機感であった。しかし準備会は今後に向けて問題を共有できる宣教方策会議が開催できることを確認

したその上で、今期委員会は二〇〇六年三月六・七日神戸栄光教会を会場に「二一世紀を迎える教会の現状と展望―特に戦後六〇年、プロテスタント伝道開始一五〇年をふまえて」と題して宣教方策会議を開催することを全員一致で可決した。なお当委員会は全教区揃っての参加を期待している。

要協議事項の二つ目で、自主活動団体認定申請する件（日本キリスト教全国同盟）、日本基督教全国教会幼稚園連絡を巡って審議し、後者は承認した。これに自主活動団体が誕生し、自主活動団体が誕生したことになる。前者については、承認に向けて更なる精査、調整を進めてゆく。障害者差別問題小委員会から「障害者差別と取り組む活動者全国交流会」の開催について、今後の資金繰りを巡る提案がなされ、宣教委員会として丁寧に対処した。

（藤田義哉報）

立せられ隔絶させられていることを強く台湾が固有に主権と自決権を持っている新しい国名をもって国際社会の動きに参せるようになるために戦っている、台湾。特に、UN（国連）、WHO（世界保健）が加入することに共に尽力する。

3. 台湾における原住民教会が台湾基督長老教会の中で果たしている大きな役割に注目し、日本の教会もアイヌ民族や少数グループとの交わりと宣教について努力し、そのために両教会は宣教師の派遣をはじめ、宣教の協力を推進する。

4. 両教会は、明日の宣教を共同して推進するために、両国の諸神学校間で神学教師、神学生の交流を推進する。

5. 日台の社会共通に、高齢化、少子化等の問題を抱えている現状にかんがみ、高齢者、婦人、青年各層の国際的交流と宣教のために、協議会、相互伝道等の企画を推進する。

われわれは、霊性の枯渇によって人間と社会が深刻な危機にあることを憂慮し、聖霊の導きを祈り求めつつ伝道に励み、上述のヴィジョンの実現のために、相互の努力を重ね、新しい十年を切り開きたい。時代の挑戦を真摯にかつ勇氣を持って受け止め、神の国の到来を信じ、それぞれの地に根を張り実を結ぶことを祈るものである。

2005 年 11 月 16 日

第10回日本基督教団と台湾基督長老教会との教会協議会



共有できる宣教課題を！

「協約改定二〇年―歴史と展望」主題に

日本基督教団と台湾基督教長老教会との教会協議会

区・教会・伝道所が共有できる宣教に資する課題を提起し、それをもとに宣教方策会議の開催への協議を継続してきた。殊に八月下旬には宣教方策会議準備会を行い、そこに二六教区（沖縄教区は欠席）の宣教委員長またはそれに代わる担当者 راوいて準備にあたった。この会では一六の教区から丁寧に準備された資料

第一〇回日本基督教団（以下教団と記す）と台湾基督教長老教会（以下PCTと記す、Presbyterian Church in Taiwan）との教会協議会が一一月一四日（月）から一六日（水）まで東京で「台湾基督教長老教会との協約改定二〇年一歴史と展望」を主題として開かれた。

この協議会は原則として

二年ごとに台湾と日本において交互に開催されてきた。PCTから二五名、教団からは三役、総幹事、担当幹事、教会婦人会連合などをはじめ一四教区から参加者があった。PCTが北海道教区に送り出してきたという宣教師ディヴァン・スグルマン師も北海道教区から参加してくださった。東京台湾教会が所属する西

学区における台湾教会の役割と位置づけ、また関係性の重要性を感じさせる出来事であった。

レセプションが宿泊場所でもあった中野サンプラザ、開会礼拝が東京台湾教会、協議は学生キリスト教友愛会（以下SCF）を会場に行われた。今年が教団とPCTとの協約改定二〇〇年となるため、これまでの

し、挨拶を陳信良PCT議長がするといったように、それぞれの教会からの参加者が役割を担った。聖書研究、発題、協議の司会なども同様に進めていかれ、小林眞教団副議長の司式、PCT陳議長の説教による開会礼拝まで友好的にプログラムは進んだ。

東京
教会を生み出せる
教区に

西
吉岡光人

西東京教区では毎年秋に、信徒・教師がともに学び議論する『教区伝道協議会』を開催しています。今年は「開拓伝道」についてのテーマで行われました。教区内の約四分の三の教会・伝道所が一九四五年以降に設立されており、比較的历史の浅い教会が多いのがこの教区の特徴です。また三〇年ほど前から人口の激増した八王子・町田などの市部にはまだまだ教会のない地域が多く、東京教区西支区

教区
コラム

ために支那時代から「親教会群伝道」による伝道協力体制や「伝道互助制度」などを整えてきました。

という宣教論的な意義を確認しよう、協議会の参加者の中にはそのような熱い思いがあふれていました。とりわけ信徒の方々の熱心さに教師たちが大変励まされました。講師から「幻がなければ民は

一方、礼拝出席者の減少傾向、経済的な困難さなど、各個教会の現実も大変厳しいものがあります。このような時に開拓伝道ということがらを話し合うことは、各個教会の現実を反映

「墮落する」という箴言の御言葉が示されました。互いに厳しい現実を認め合いながらも、幻を追いつめ続け、主の教会を建てる教区でありたいと願っています。

（西東京教区総会議長）

(西東京教区総会議長)



記念すべき第10回協議会

約は一九六三年に締結され、一九八五年に改定されたものである。

開会礼拝では山北宣久教団議長が説教し、李孟哲東京台湾教会牧師が司式

氏が来られたことは、もちろんご本人が誠実な信仰者であることからなされたものである。PCTの信仰に基づく社会との関わりと密接に結びついた出来事であった。

PCTからの参加者の発言には、台湾が国際社会から孤立させられていることの訴えが多くなされたが、それを教団からの参加者がどれほど知り、また知ろう

第1

日本基督教連合会、日本基督教協議会を開会結したが、

たが、残りの教区に関して
早期の解決が望まれている
との認識が再確認された。

来年には、両教会の青年
の交流プログラムが日本で
行われることも確認され
た。教会婦人会連合とS C
Fの協力を得て、教育委員
会がプログラムの準備を行
う。

（村山盛芳報）

共同声明が採択された。
別掲を参照していただきたい。
この協議会が話し合い
で終わるのではなく、教団
とP C Tが実を結ぶ関係を
今後も続けて行くことが、
参加者と両教会の責務であ
る。

1. 世界宣
共同体とし
て、共同
アジアの
めに努力
おける重
な使命を
2. われわれ

(村山盛芳報)

第10回日本基督教団と台湾基督長老教会との教会協議会

共 同 声 明

日本基督教団と台湾基督長老教会は2005年11月14日から16日まで、日本基督教団学生キリスト教友愛会会館において、第10回教会協議会を開催した。両教会は第二次世界大戦後の1963年に宣教協約を締結したが、これをさらに強力なものとするために、1985年にこれを改訂した。本年は改訂後20年の記念すべき年に当たる。われわれは「日本基督教団と台湾基督長老教会との協約改訂20年―歴史と展望」を主題として、これまでの共同の歴史を確認し評価反省すると共に、現在両教会が直面している歴史的状況と宣教の課題を追求し、これを協力関係教会として分かち合い共に担ってゆく、新しい具体的な関係を構築しようと努力した。歴史の主の導きの下に、21世紀の教会の共働の歩みが築かれることを祈りつつ、両教会は以下の共同声明を発表する。

1. 世界宣教の展開によって、教会は地球規模でエキュメニカルな共同体として存在し、しかも各地域の教会が、対等のパートナーとして、共同の宣教を推進する状況となった。日本と台湾の教会も、東アジアの他の諸教会と共に、この地域の宣教を協力して推進するために努力する。われわれは、台湾の教会がこれまで世界とアジアにおける重要なパートナーとして受け入れられ、またエキュメニカルな使命を果たしてきたことを確認する。
2. われわれは、信仰と神から与えられた人権に基づき、台湾 2300 万

牧師のパートナー

今私は、この四月から夫が牧会する春採教会で教会員となり、又幼稚園の副園長として働いているが、この事が不思議でならない。というのも、春採教会は、二四年前に赴任し、夫が九年前牧会した教会だからである。その時と同じ牧師館に再び住み、同じ様に幼稚園で働いている事不思議さ。しかし、振り返って見ると、これまでの私の人生そのものが不思議と言えるのかも知れないが…。

幼稚園教諭となる為に入った学校で神学生だった夫と出会い、彼が最初の任地である男鹿教会に赴任するとき結婚してから三六年。私としては、出会った人がたまたま神学生だったのであって、自分が牧師のパートナーになる事は深く考えずに結婚したというのが、本当のところである。

その後、鳥羽教会、春採教会、玉川教会、秋田高陽教会と任地は変ったが、私はそれぞれの教会で自分の出来る事をさせて頂いてきた。今でこそ、牧師のパートナーという言葉が普通に使われるよう

になったが、以前は、「牧師夫人」という、教会内で微妙な立場があった。でも、夫は、「教会から招聘を受けたのは牧師であって、牧師の妻は一教会員であり、教会内で牧師を支えるのは役員会である」という考えから、どの教会でも、私の立場を明確にしてくれた為、私は一信徒として、自由に自分の奉仕を選択し、のびのびと教会生活をする事が出来た。勿論失敗や苦い思いをした事もあるが、それ以上に、どの教会でも良き交わりを与えられて、私の信仰が育てられてきた恵みと思う。

そして四年前、秋田高陽教会に赴任して半年経たず、それまで健

備えられた道の不思議さ

青砥恵美子
(春採教会員)

康そのものだった夫が、急性骨髄性白血病を発病した。前任牧師を繼で亡くしていた教会の衝撃は大きかった。二人で何度も祈り、全てを主に委ねて入院し、一年半に及ぶ化学療法が始まったのである。その間、多くの祈りと励まし



湖畔幼稚園の玄関ホールにて

お知らせ

★教団年鑑刊行のお知らせ
このたび、日本基督教団年鑑二〇〇六年版を刊行いたしました。今回も新たな情報を満載しておりますので、是非、最寄りのキリスト教書店もしくは当方で直接お問い合わせください(定価三六〇〇円十税)。また、ご購入いただいた方には、是非アンケートハガキに答えいただき、当年鑑についてのご感想やご批判をいただければ幸いです。来年三月発行予定の追録を送ります。なお、直接お問い合わせの際は、〇三・三三・二一〇五四事務局総務部に電話ください。

二〇〇五年 二月

日本基督教団総務部年鑑係

催し

★東京教区原理問題相談会
／時 二〇〇六年一月27日(金) 13時～15時／所 日本キリスト教団4階会議室／問合せ 東京教区事務所 03-3203-4270

出版局 ニュース

★新刊から
『断片』の神学―実践神学の諸問題(関田寛雄 牧師として、神学者・教育者として五〇年。生活の現場で直面する一つ一つの問題に切実な神学の課題を見出して考察、説教・牧会・宣教そして明日を目指す実践神学について現代の問題を鋭く指摘しつつ、これから

の日本の教会の宣教への提言をする。*A5判・四五八頁・五七七五円

『国家を超えられなかった教会―一五年戦争下の日本プロテスタント教会(原誠)一九三一年に始まった日中戦争から敗戦に至る一五年間におよぶ戦争状態。その時、教団・教会・教会員は戦争とどのように向き合おうとしたのか。沖縄・アジアの教会など、現地に赴き、丹念に証言を集め、その実像に迫る。*A5判・三三六頁・六七二〇円

『手話で歌おう―』こともさんびか改訂版(原崎悦子監修／石橋えり子絵)手話はとてもチャームング。一語一語に込められた思いを全身を使って豊かに表現しよう。手話で歌うこともたちが生き生き。教会学校や子どもの礼拝のために。一六曲収録。*B5判・四〇頁・九八八円

『讃美歌21 合唱曲集7―レント・イースター・ペンテコステ』日本基督教団讃美歌委員会編二八四荒れ野の中で、三三四(主イエスはすみて)、二八ハレルヤ、ハレルヤ、三三三(恐れを捨て去り)、三四七(たえよ、聖霊を)を収録。*B5判・四〇頁・二六〇円

★出版局のホームページで書籍のご注文を承っております。『クロネコヤマトのブックサービス』が自宅までお届けします。お買い上げ一五〇〇円以上送料無料。ご利用ください。
<http://www.bp.ncj.or.jp>

ひととき

清水 操さん

主から与えられた使命を走る



1935年生まれ、全国教会婦人会連合中央委員長、神戸栄光教会員

この六月、全国教会婦人会連合中央委員長に再選された。委員長として手腕があるのではない。交通整理役だと思っております。と、にこやかに話す。

婦人会連合に関わったのは震災がきっかけだった。連合の委員は、地域の教会が順番制で出す。しかし当番教会が被災で委員を出せず、順番が回ってきた。自身も夫の両親を震災で失った中での関わりだった。教区の震災関連の動きにも関わった。連合三〇周年の大会が神戸で行われる時、準備委員となった。

「震災があったから今がある。全て神様のご計画で、たくさん

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ

た。それからは、ただひたすら、使命だと思っ